

**(消火力+安全性+浸透性)×2倍*の実力!**

百貨店・スーパー・倉庫・事業所・地下街など。
また、紙や木材・ゴムを多量に使用する事業所などにおすすめ

ヤマト® 強化液(中性)消火器 蓄圧式 非PFOS
YNPF-2²型 (2L) / **3³型** (3L) / **3N³型** (3.5L) / **4⁴型** (4L) / **6⁶型** (6L) / **8⁸型** (8L)

A(普通)火災用・B(油)火災用・C(電気)火災用 国家検定合格品



YNPF-3/3型

“PFOS”規制、対応消火器

YNPFシリーズは、国際的に規制が進んでいる、有機フッ素化合物(PFOS類)を含有しておりません。

PFOS(ペルフルオクタンスルホン酸)含有製品の製造・使用は2009年10月30日公布の化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)施行令により、2010年4月から規制されます。当社の消火器はPFOS規制に対応した消火器です。

**LINE UP**

YNPF-2/2型



YNPF-4/4型



YNPF-6/6型



YNPF-8/8型



YNPF-3N/3型

**Neutral
Loaded
Stream**
●従来の強化液消火器に比べ、2倍の実力!

A(普通)火災に対しては、冷却作用と強力な浸透作用によって、確実に消火。

B(油)火災に対しては泡状になった消火薬剤が油面を迅速にシールして確実に再燃を防止します。ですから、従来の強化液消火器では消火の困難だったふとん、綿くず、段ボールなどの深部火災やガソリン等の引火性油火災も、確実に消火します。

■消火実験**●A火災の場合****●B火災の場合**

ヤマト® 強化液(中性)消火器 蓄圧式

国家検定合格品

YNPF-2^{2型}(2L)/3^{3型}(3L)/3N^{3型}(3.5L)/
4^{4型}(4L)/6^{6型}(6L)/8^{8型}(8L)

使用方法

※消火器は圧力容器です。
取扱説明書をよく読んでご使用ください。

1 安全栓を
引き抜く



2 ホースをはずし
火元に向ける



3 レバーを
強くにぎる



仕様

	YNPF-2	YNPF-3	YNPF-3N	YNPF-4	YNPF-6	YNPF-8
総質量	約4.4kg	約5.8kg	約6.36kg	約7.54kg	約11.8kg	約13.8kg
薬剤量	2.0L	3.0L	3.5L	4.0L	6.0L	8.0L
全高	約46cm	約55cm	約63cm	約49.5cm	約61.5cm	約71cm
全幅	約20cm	約20cm	約20cm	約20cm	約21cm	約24cm
放射時間(20℃)	約31秒	約52秒	約66秒	約57秒	約80秒	約109秒
放射距離(20℃)	4~7m	4~7m	4~7m	4~7m	4~7m	4~8m
能力単位	A-1・B-1・C	A-2・B-2・C	A-2・B-2・C	A-2・B-3・C	A-3・B-5・C	A-4・B-6・C
使用温度範囲	-20℃~+40℃	-20℃~+40℃	-20℃~+40℃	-20℃~+40℃	-20℃~+40℃	-20℃~+40℃
税込価格(本体価格)	20,475円(19,500円)	23,100円(22,000円)	25,725円(24,500円)	26,250円(25,000円)	26,880円(25,600円)	35,700円(34,000円)
型式番号	消第21~7号	消第21~6号	消第21~8号	消第22~9号	消第21~10号	消第22~8号

▲受注生産品

2次元バーコードにより、携帯電話で、消火器の操作方法を説明するアニメーションが見られます。



<http://yp-vt.net/alltop/ynpf.html>

●危険のない中性の消火薬剤使用。

薬液は中性(pH7.6)ですから、従来の強化液消火器(強アルカリ性:pH約13)と比べて、安全性に優れています。また、金属等に対する腐食性が少なく、飛散した消火薬剤は水で洗い流せるので、消火後の汚損が少ないのも特長です。

●放射圧力源に地球温暖化係数ゼロの窒素(N₂)ガスを採用!

窒素ガスを使用しているため、気温に左右されず安定した消火能力を発揮します。指示圧力計の指針が緑色範囲内[7.0~9.8(×10⁻¹MPa)]にあればいつでも使用可能です。

指示圧力計

指示圧力計の指針が緑色範囲内にあるか、定期的に点検してください。

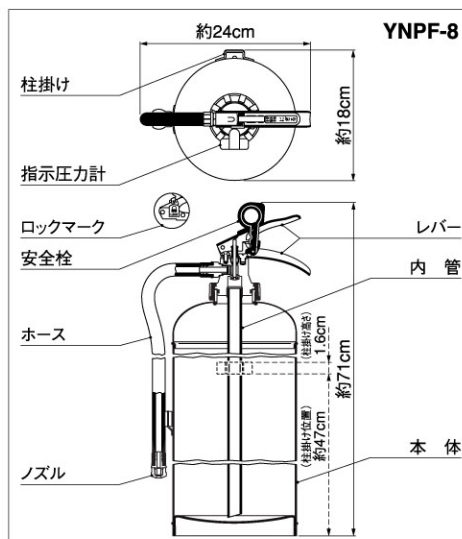
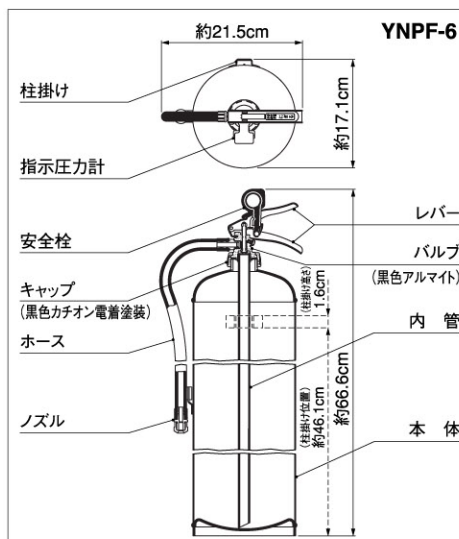
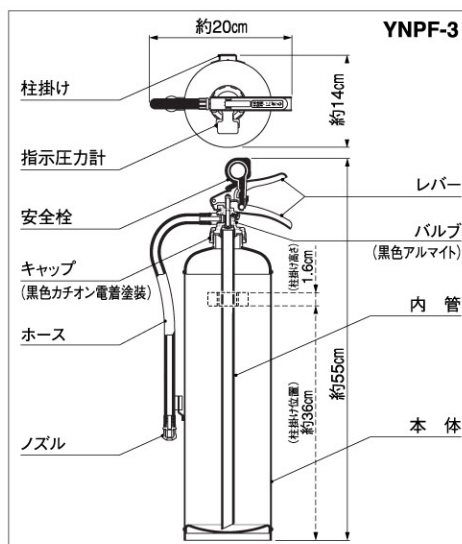
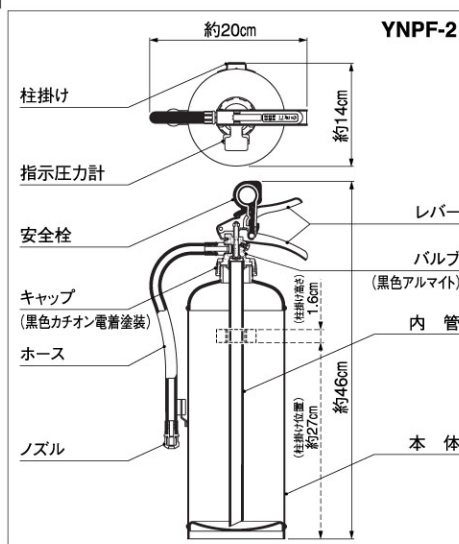


●“ワールドワイドデザイン”アイコンタワーを採用。

消火器の用途や仕様をアイコンで表現したアイコンタワーデザインです。文字を読まなくても誰もが目で見てすぐに理解できることで、使いやすさを高め、迅速な消火活動に寄与します。



構造図



▶消火器は目立つところに設置してください。

■消防法第17条の3に基づき6カ月に1回以上の点検を、消防設備士等の資格を有する人に依頼して行うようにしてください。

■1度放射されたら、ただちに消火薬剤を詰替えてください。試し放射はしないでください。

※カタログ掲載商品は改良などのため、予告なく仕様・規格変更を行うことがあります。ご了承ください。

●あらゆる防災設備・機器のご利用は下記へ……………

ヤマトプロテック株式会社

本社 東京都港区白金台5-17-2 ホームページ <http://www.yamatoprotec.jp/>

大阪・名古屋・札幌・仙台・さいたま・横浜・静岡・広島・松山・福岡/大阪工場・東京工場・中央研究所

※このカタログは、再生紙を使用しています。